

2月～3月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
にちようおはなし会	毎週日曜日 14時30分～		中央図書館 TEL222-0559
春のおはなし会	3月24日 15時～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 15時～		西図書館 TEL237-5660
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		川越駅東口図書館 TEL228-7712
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 TEL238-7550
子ども体験教室 「昔の道具を使ってみよう」	2月13日・20日 ①10時～11時45分 ②13時30分～15時15分	○	
子ども博物館教室 「昔の織物に挑戦」	3月5日 10時～15時30分 申し込み＝2月2日、9時から電話またはファクス(定員20人)	○	
子ども体験教室 「和紙作りに挑戦」	3月12日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝3月2日、9時から電話またはファクス(定員各回15人)	○	博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「わら細工に挑戦」	3月19日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝3月3日、9時から電話またはファクス(定員各回20人)	○	
子ども卓球広場	2月6日、3月5日 13時30分～15時30分		
子ども囲碁将棋広場	2月20日、3月19日 9時～11時	○	
人形劇フェスティバル	3月13日 10時～11時		高階南公民館 TEL245-3581
土曜映画会	3月19日 10時～11時		
パネルシアターフェスティバル	3月31日 10時～11時		
石と森の夢工房	2月20日 10時～11時15分 申し込み＝大東南公民館へお問い合わせください。		
季節の遊び 「テラコッタを作ろう」	3月12日 9時30分～11時30分 申し込み＝2月25日、10時から電話、ファクスまたは大東南公民館窓口へ(先着30人)		大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
春休み子ども映画会	3月28日・29日 10時30分～12時		
第37回川越市ジュニアスキー教室	3月19日6時発～21日19時着予定 会場＝菅平高原スキー場 対象＝小4～中学生(定員120人) 申し込み＝2月12日消印有効でハガキ	○	スポーツ振興課 TEL224-6094
美術館探検クイズに挑戦	2月27日 10時～12時 申し込み＝2月2日、9時から電話またはファクス(定員20人)		美術館 TEL228-8080 FAX228-7870
紙粘土でぶたさんをつくろう!	3月26日 10時～12時 申し込み＝3月1日、9時から電話またはファクス(定員20人)		

※日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。

※ の教室は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。

※「中学生」の欄に○がついている講座は、中学生にもお勧めの講座です。



木工班 製品販売の様子

チャレンジ発表を熱心にみている卒業生

川越市立特別支援学校 第52回 「輝き祭」

平成27年11月28日(土)、川越市立特別支援学校文化祭「輝き祭」が開催されました。日頃の学習成果の発表として、職業の授業で作った製品の販売、美術で制作した作品の展示、チャレンジ発表の展示が行われました。「チャレンジ」とは自分で課題を発見し、解決する方法を学ぶ総合的な学習の時間のことです。3年生のチャレンジでは、修学旅行先である沖縄の歴史文化や自然について調べました。そのほかに、喫茶店、ゲームコーナー、バザー、PTAによる模擬店も出店され、たくさんの地域の方々や卒業生が来校し、学校と家庭と地域の交流がより深まりました。

第57回「水道週間」協賛懸賞 図画の部 特選受賞

川越市上下水道局では6月1日から6月7日の水道週間に合わせて、「水道週間ポスターコンクール」を開催し、特選受賞作品を日本水道新聞社等主催の「水道週間」協賛懸賞に応募しています。

このたび、川越第一小学校2年鈴木琴美さんの作品が、「図画小学校低学年の部」において特選を受賞し、11月18日(水)、上下水道事業管理者室で授与式が行われました。受賞作品は、きれいな海で兄妹が手をつなぎ、生き物と一緒に泳いでいる様子を描いた、とても色鮮やかな作品です(写真左)。川越市公式ホームページにも掲載されていますので、ぜひご覧ください。



「水はみんなのたからもの」



受賞おめでとうございます

し とく
知っ得

知って
ちょっと
得意になれる!

ぶん か さい
文化財

第32回 「時の鐘のいまとむかし」

川越市のシンボルである現在の「時の鐘」が建てられたのは、明治27年。それから約120年の間に何度も修理をして、実は少しずつ形が変わっています。現在行っている時の鐘耐震化工事では、時の鐘を地震から守るだけでなく、建てられたときの形に戻す工事もしています。

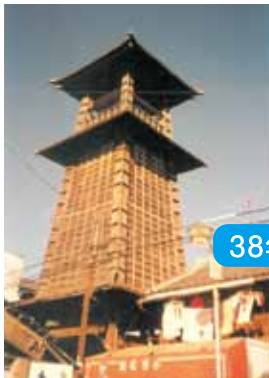
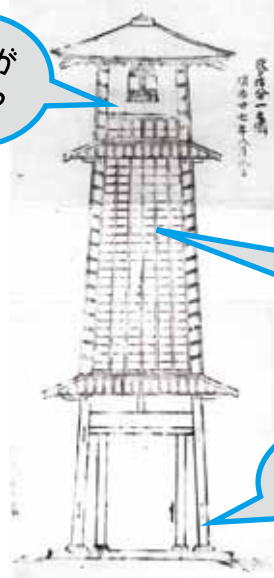
時の鐘は、明治26年(1893年)の川越大火で前の建物が焼失した後、川越の大工、関根松五郎の計画図をもとに建てられました。この絵といまの時の鐘ではいったいどこがちがうでしょう？

横棒がない？

明治27年(1894年)の計画図。こまかい部分まで描かれています。

壁に小窓がない？

脚がすっきりしてる？



いま

121年前



写真で見る 時の鐘のむかし

昭和52年(1977年)はほとんどいまと同じです。まわりの電線が地中化されるのは平成になってからです。

時の鐘の形が確認できるもっとも古い大正元年(1912年)の写真。計画図のように横棒がなく、壁に小窓もありませんでした。『埼玉縣写真帖』大正元年発行



昭和32年(1957年)の写真では、上にも小窓があったことがわかります。このあと、昭和35年に大修理が行われました。

『川越市市勢要覧 昭和32年版』中央図書館蔵



昭和16年(1941年)の写真では、なんとガラス窓がついていました。いまも残っている横棒は、この窓をとりつけた「鴨居」と見られています。

小窓の位置もちがいますね。

『川越市市勢要覧昭和16年度』中央図書館蔵

市教委だよりNo.107 発行／川越市教育委員会教育総務課 TEL(224)6074(直通)

この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき基本方針の判断を高たす紙を使用しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

市教委だよりは再生紙および大豆油インクを使用しています

